

参加者の声 1

ファイザー・クリニカル・リサーチ・ユニット(PCRU)について、どこで知りましたか。

オンライン辞書“Reberso”を利用していたら、ポップアップ広告が出てきたのでそれをクリックすると、ファイザーの治験案内ページにつながりました。そこで、入力フォームに記入して登録しました。

以前から、治験についてはご存知でしたか。

新しい薬が、市場に出る前に治験が必要であるということを聞いたことはありますが、あまり良く知りませんでした。参加者をいくつかのグループにわけて、プラセボ(偽薬)と色々な濃度の治験薬の効果を比較するのかな、と思っていました。治験に関しての知識はそのぐらいです。

どうして私たちの治験に参加しようと思いましたか。

治験に興味があったので、体験したかったからです。それに、それがちょっとした科学への貢献になるならうれしいことだと思いました。

どうして、この治験を選びましたか。

中国人向けの治験は、これだけだったので。ファイザーのスタッフから私がこの治験に適しているとご連絡をいただきました。治験参加には興味があったので、そのまま登録しました。

治験参加とご自身のお仕事をどのように両立させましたか。

私は学生なので、自由になる時間がありますし、現在ほとんどのクラスがオンラインで行われています。PCRU滞在期間の最初の1週間に二つオンラインでの試験がありました。このことをPCRUスタッフに伝えると、試験に参加できるための個室を用意してくれました。そうでなければ、治験には参加できなかったと思います。スタッフの方のご協力に本当に感謝しています。参加者として、丁寧に、大事に対応していただいたと感じています。

PCRUではどのようにして時間を過ごしましたか。

最初の週は試験勉強に励みました。試験終了後は、本を読んだりテレビを観たり、リラックスして過ごしました。家に居る時と同様に、ほとんどの時間はインターネットサーフィンをして過ごしました。

他の参加者と友達にはなりましたか。

あんまり、多分私の性格のせいだと思います。静かに過ごすことを好むので。PCRUは清潔で整頓されているので快適でした。

決められた規制を守ることは可能だと思いましたか。

はい、特に規制を感じず、リラックスして過ごしました。食事もおいしかったです。夕食の後に軽食も提供されました。全体的に何も問題はありませんでした。

今後の新しい参加者にアドバイスをお願いします。

ここではたくさんの自由時間があるので、普段時間がなくて読めていない好きな本を持参することをお勧めします。もちろん、ノートパソコンはいつでもあると便利です。ここでは本当にリラックスできると思いますよ。

参加者の声 2

ファイザー・クリニカル・リサーチ・ユニット(PCRU)について、どこで知りましたか。

数か月前に、インターネット上で広告を見てそこからクインライフのウェブサイトにつながりました。登録後、最初にPCRUスタッフから電話で、選考過程について教えていただきました。その後実際に治験参加が決まるまでの数か月、なんだかやりとりを重ねました。

以前から、治験についてはご存知でしたか。

はい、治験について基本的なことは知っていました。また、参加者に生じる可能性のある潜在性のリスクについても知っていました。ですが、今まで治験に参加する機会はありませんでした。

どうして私たちの治験に参加しようと思いましたか。

まず、治験に参加したらどんな感じなのか興味がありました。人間はいつも知らないこと、未体験のことに興味があるんだと思います。そして、きちんとした金額が補償されるということもありました。

どうして、この治験を選びましたか。

PCRUでは当時この治験が中国人を募集してるし、他の治験にも参加できるとスタッフの方に教えてもらいました。そこで、最初に参加する治験としてこちらを選びました。参加期間は素晴らしく、今後別の治験にも参加したいと考えています。

治験参加とご自身のお仕事をどのように両立させましたか。

リモートワークや、リモートクラスなどだと可能です。

PCRUではどのようにして時間を過ごしましたか。

治験で予定されている検査などのほかは、読書部屋で勉強と仕事をして過ごしたので、あまり楽しいことをする時間はありませんでした。

他の参加者と友達にはなりましたか。

はい。

決められた規制を守ることは可能だと思いましたか。

はい、規制はどれも遵守可能なものでした。毎日定期的なスケジュールが設定されているので、不安な気持ちになることはありませんでした。スケジュールに従って定期的に物事を行えるので良かったです。

今後の新しい参加者にアドバイスをお願いします。

1. 医師や看護師の専門知識を信頼する。
2. PCRUの定めるルールや義務に従う。
3. 治験参加中、自分の感じたことや、わずかな症状に関して全て正直になる。
4. 治験期間中、何か問題に直面した時、自分の母国語を話すスタッフはとても頼りになります。また、薬学的な、専門的な言葉や、言語上の壁がある時に、自分の母国語を話すスタッフは本当に助けてくれます。